


●最近の県内経済

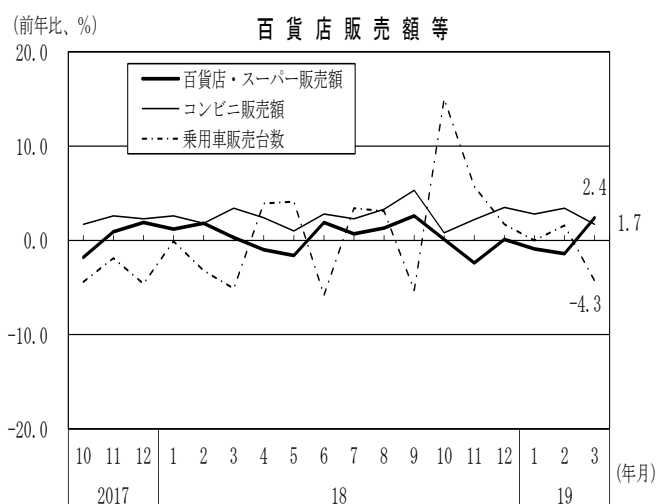
基調判断
(2019年3月を中心として)



今月の概要

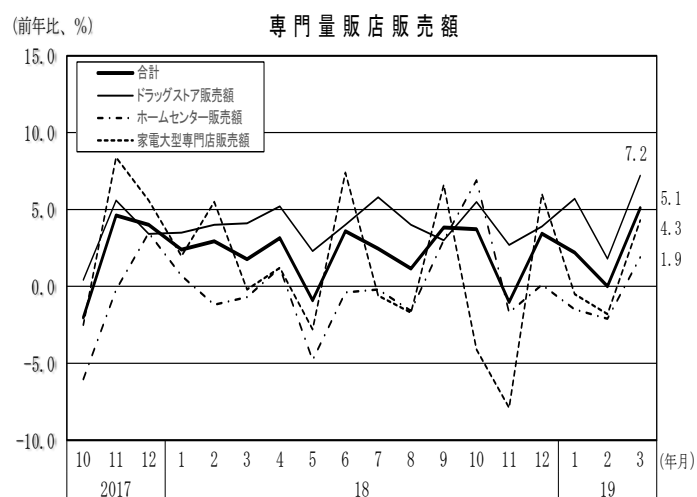
県内景気は、設備投資が減少し、生産活動が停滞するなど、弱含んでいる。

1 個人消費 持ち直し



(資料)経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

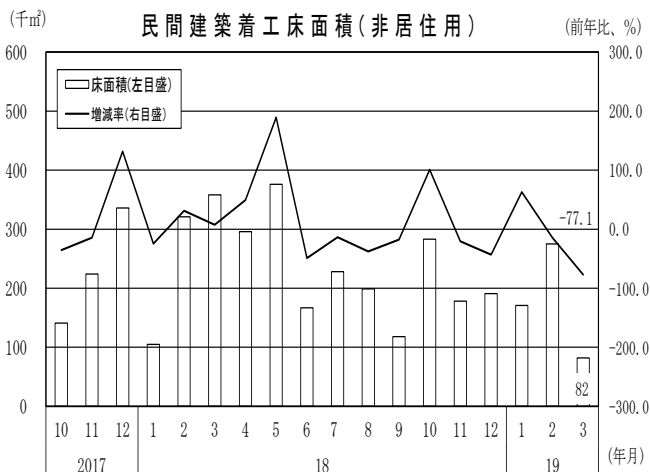
3月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、875億円で前年比2.4%増となった。百貨店は同1.8%減と引き続き減少したが、スーパーは同3.5%増と3か月ぶりに増加した。コンビニ販売は、同1.7%増と堅調に推移している。乗用車販売(軽含む)は、同4.3%減と6か月ぶりに減少した。内訳をみると、普通車が同4.4%減、小型車が同5.1%減、軽乗用車が同3.5%減といずれも減少した。



(資料)経済産業省

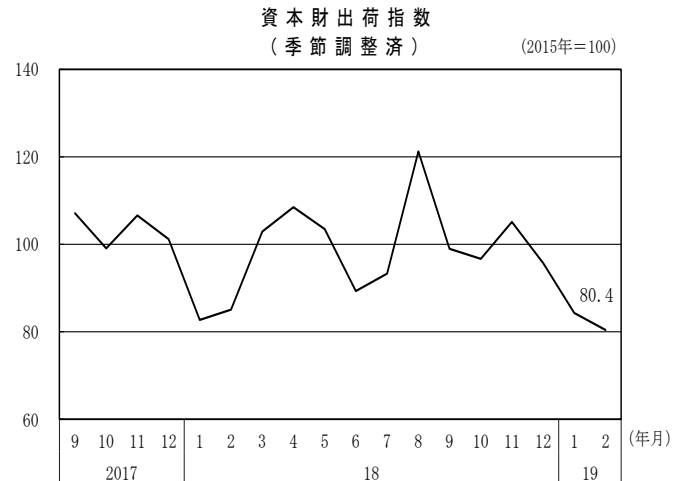
3月の専門量販店販売額は、672億円で同5.1%増となった。内訳をみると、ドラッグストアは342億円で同7.2%増と引き続き増加したほか、家電大型専門店は166億円で同4.3%増、ホームセンターは165億円で同1.9%増となった。

2 設備投資 減少



(資料)国土交通省

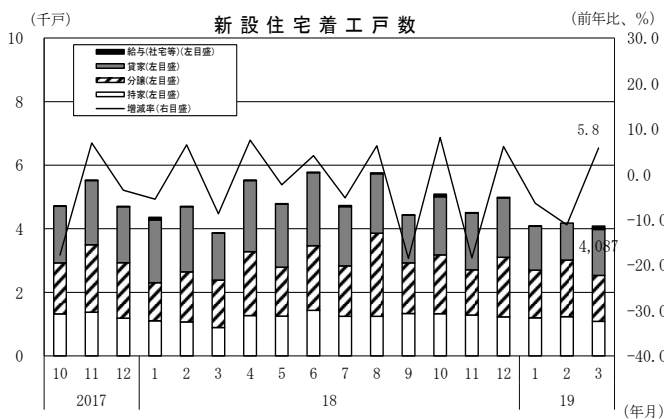
3月の民間建築着工床面積（非居住用）は、82千㎡で前年比77.1%減となった。用途別にみると、事務所、店舗、倉庫、工場及び作業場などすべての用途で減少した。



(資料)埼玉県

2月の資本財出荷指数（季節調整済）は、80.4で前月比4.6%低下した（3か月連続の低下）。

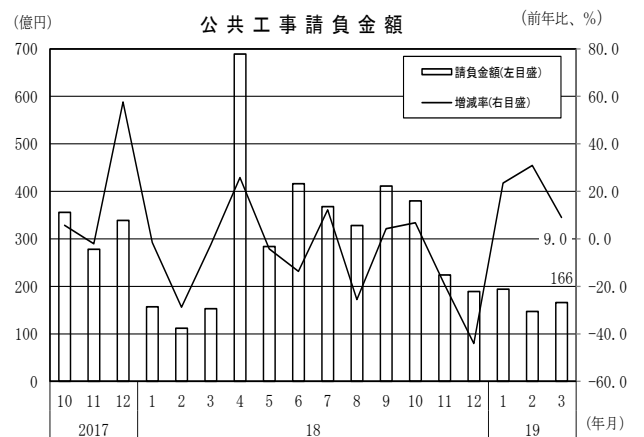
3 住宅建設 弱含み



(資料)国土交通省

3月の新設住宅着工戸数は、4,087戸で前年比5.8%増となったが、昨年の月間平均着工戸数4,876戸を大幅に下回っている。利用関係別にみると、貸家が1,447戸で同1.9%減、分譲マンションが209戸で同60.8%減と減少したが、持家が1,087戸で同21.3%増、分譲戸建てが1,235戸で同29.0%増となった。

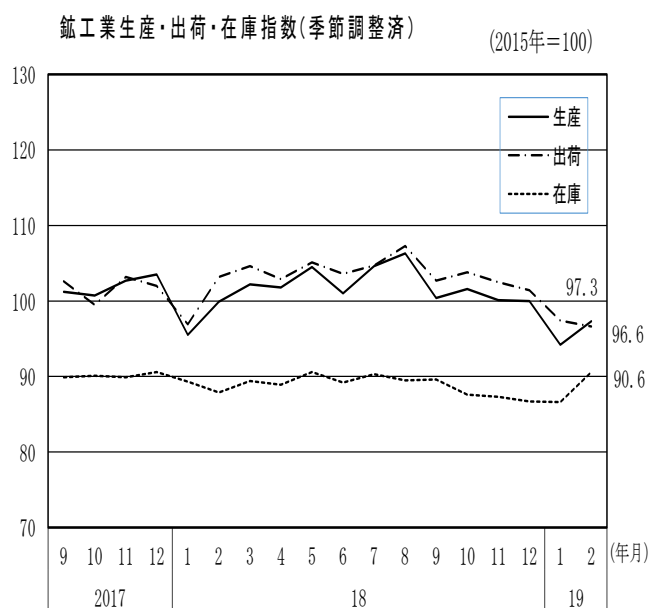
4 公共工事 横ばいの動き



(資料)東日本建設業保証株式会社

3月の公共工事請負額は、166億円の前年比9.0%増加した。3月までの年度累計では前年同期比2.2%減と横ばいの動き。3月単月を発注者別で見ると、国、県などが減少したが、独立行政法人等、市町村が増加した。

5 生産活動 停滞

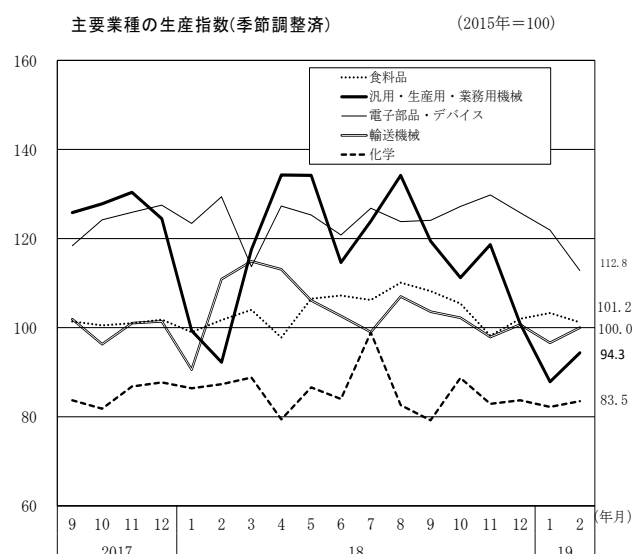


(資料)埼玉県

2月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、97.3で前月比3.3%上昇した(4か月ぶりの上昇)が、2018年8月の106.3をピークに低下基調にある。業務用機械(精密測定機)、食料品(炭酸飲料)などが低下したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、情報通信機械(カーオーディオ)、輸送機械(乗用車)などが上昇した。

出荷指数(同)は、96.6で同0.8%低下した(4か月連続の低下)。非鉄金属(伸銅製品)、化学(化粧品)などが上昇したが、食料品(めん類)、生産用機械(半導体製造装置)、業務用機械(分析機器)、汎用機械(空気圧機器)などが低下した。

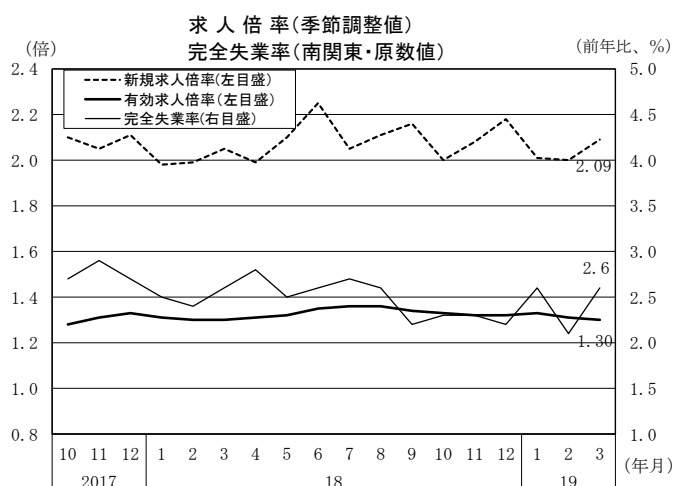
在庫指数(同)は、90.6で同4.6%上昇した(5か月ぶりの上昇)。電子部品・デバイス(集積回路)、非鉄金属(銅電線)などが低下したが、生産用機械(マシニングセンタ)、輸送機械(乗用車)などが上昇した。



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、101.2で前月比2.0%低下し、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、94.3で同7.4%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は112.8で同7.5%低下し、3か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、100.0で同3.5%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、83.5で同1.6%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

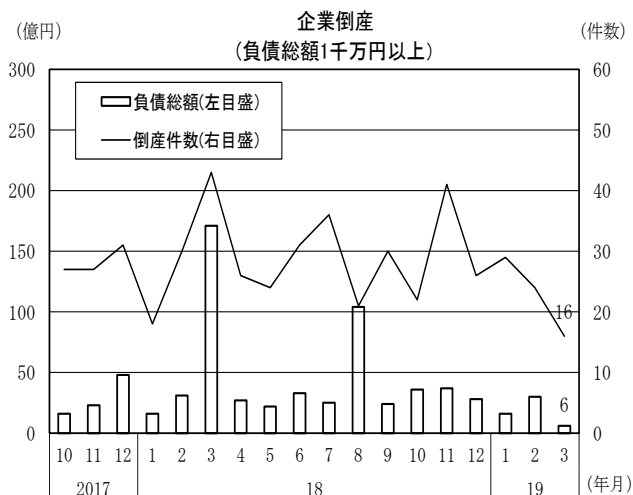
6 雇用情勢 着実に改善



(資料)厚生労働省、総務省

3月の有効求人倍率(季節調整済)は1.30倍で前月比0.01ポイント低下したが、新規求人倍率(同)は2.09倍で同0.09ポイント上昇。完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%と前月比0.5ポイント悪化した。

7 企業倒産 件数、金額ともに減少



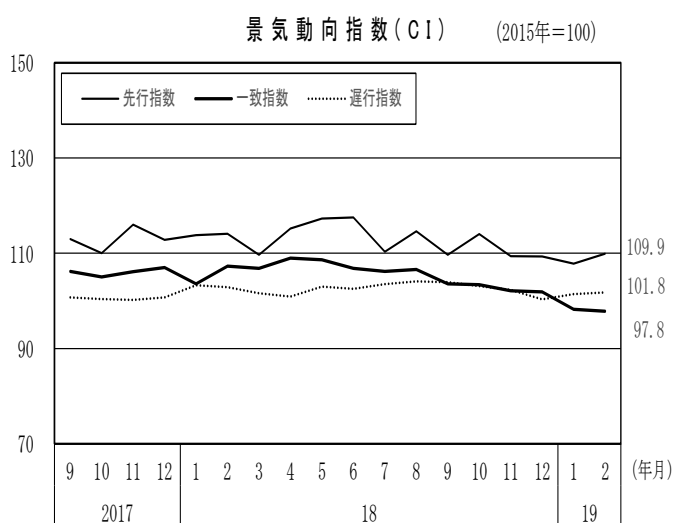
(資料)帝国データバンク

3月の企業倒産件数は16件で前年比27件の減少、負債総額は6億円で同165億円の減少となった。

業種別にみると、小売業とサービス業が4件でともに最多となっている。次いで製造業が3件となっている。主因別では、販売不振が14件で最も多くなっている。

〈参考〉

景気動向指数(CI) 悪化を示している



(資料)埼玉県

2月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、97.8で前月比0.4ポイント低下し、6か月連続の低下となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、109.9で同2.1ポイント上昇し、4か月ぶりの上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、101.8で同0.4ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。